

提 言 書

令和6年度一般会計歳入歳出決算については、物価高騰や大雪による除雪経費の増加等があった中で、歳入歳出差引額、実質収支は前年度を上回り、単年度収支 16,720 千円の黒字となったことは評価するところです。しかしながら、今後、会津若松地方広域市町村圏整備組合におけるごみ焼却施設整備事業等の大型事業等に伴う財政負担の増加などが見込まれることから、さらなる財政の健全運営に努めていただきたい。加えて、引き続き職員の資質向上を図り、行政の信頼を確保しつつ、危機意識の徹底と組織マネジメント力の強化に努め、コンプライアンスの徹底を維持していただかなければなりません。

また、令和8年度から始まる「会津美里町第4次総合計画」に掲げる政策遂行に向けては、さらなる経費の抑制が必要です。物価高騰の高止まりの中、限られた財源においても行政サービスの質の向上が求められています。

以上を踏まえ、以下、町第3次総合計画の7項目の政策について、第4次総合計画に引き継がれ、町民に信頼される行政サービスの執行に努められるよう提言します。

政策1 自然に配慮した環境づくり

- ・「ゼロカーボン宣言」に則し、資源ごみのさらなる分別の徹底と資源物回収施策を推進し、燃やせるごみの減量化を図ること。
- ・地球温暖化防止の啓発活動及び小中学生に対する環境教育を推進し、町民の環境保全に係る意識向上に努めること。
- ・町民の快適で便利な日常生活のための公共交通を維持するとともに、さらなる利用促進に努めること。

政策2 安心で安全な暮らしづくり

- ・自主防災組織の新規設立に向け、組織の必要性を地区住民へ丁寧に説明するとともに、啓発活動に努めること。
- ・防災意識の高揚のため防災訓練や広報紙等での啓発活動を図ること。

政策3 健やかで人にやさしいまちづくり

- ・悩みや不安がある町民が気軽に相談できる窓口の設置と医療機関等との連携を図った相談体制の充実に努めること。
- ・子育て支援のため、放課後児童支援員の資質の向上と利用者の利便性向上を図ること。

政策4 元気と賑わいのある産業づくり

- ・認定新規就農者の増加を図るため、機械施設の更新に係る補助を拡充し、持続可能な農業経営の支援を強化すること。
- ・有害鳥獣防除に、より一層の対策を講じること。
- ・耕作放棄地及び遊休農地について、さらなる集積及び利用促進を図ること。
- ・森林整備は森林の有する多面的機能を発揮する上で重要なことから、間伐や路網整備を行い、林業の振興を図ること。
- ・観光まちづくり体制の確立のため、民間活力を活かした取組を強化し、観光客の受け入れ体制の充実を図ること。

政策5 学びあい未来を拓く人づくり

- ・子どもの学力向上のため、教員の資質向上と指導力強化を図ること。
- ・学校・家庭・地域が連携協働し、地域全体で子どもを育てる体制を強化すること。
- ・文化財の適切な保存と地域文化継承のための活動に対する支援の充実と町民の理解醸成に向けた周知活動の強化を図ること。

政策6 魅力と個性のある地域づくり

- ・地域コミュニティの再生事業に対する支援の充実と地域おこし協力隊を活用した地域づくりの取組の強化を図ること。

政策7 町民に信頼される行政の推進

- ・町保有の公共施設について、利用者の意見を十分に聞いたうえで有効活用を図ること。
- ・職員の適正な労務管理に努めるとともに、人材の育成と事務能力向上のため研修等のさらなる充実を図ること。
- ・民間ノウハウを活用した質の高い行政サービスの提供を図るとともに、町民に寄り添った丁寧な対応に努めること。

以上、令和8年度の予算編成に反映することを提言する。

令和7年9月19日

会津美里町議会議長 大竹 惣

総合計画体系に基づく施策別提言

政策名	施策番号	施策名	提言事項
自然に配慮した環境づくり	1-1	自然・生活環境の保全	ごみの減量化に向けて、分別回収・リサイクル推進に一段の注力を。
	1-2	生活基盤の整備	管理不全空き家・敷地の対応勧奨・勧告に更なる注力を。
	1-3	交通体系の充実	狭隘な生活道路の除雪対応に注力を。
安心して暮らした安全なまちづくり	2-1	防災・消防体制の充実	自主防災組織の新規設立推進を。
			住民の防災意識高揚のため、多様な防災訓練実施に注力を。
健康で安全なまちづくり	3-3	子育て支援の充実	未来を担う児童の健全育成の観点から、児童クラブ利用者の声を聞き入れ運営の質を高めていくように、アンケート調査を行い、分析をすること。
			児童クラブ支援員確保に注力し、児童クラブ待機児童の解消を。
元気と賑わいのある産業づくり	4-1	農業の振興	就農者支援、認定農業者への農地の集積・集約に注力を。
			耕作放棄地対策に一段の注力を。
	4-2	農業の振興	「森林資源ビジョン」の住民参加型普及啓発活動を。
	4-3	観光の振興	情報発信の充実のため、看板・SNS・印刷物の総点検を。
	4-4	商工業の振興	空き工場の実態を把握し、より一層の企業誘致に努めること。

政策名	施策 番号	施 策 名	提 言 事 項
学び拓く あいき未来づくり	5-1	子ども教育の充実	子どもたちの健全育成として不登校解消・問題行動の解決に注力を。
	5-4	地域文化の振興	郷土資料館の来館者データを活かした職員の企画力で町情報発信に注力を。
魅力と個性あふれる 地域づくり	6-1	地域活動の推進	地域おこし協力隊定住への支援策充実を。
			まちづくり活動支援の周知と寄り添いに一層の注力を。
	6-2	多様な交流と連携の推進	関係人口から活動人口・協働人口へと仕掛け検討を。
町民に信頼される行政の推進	7-1	健全な財政運営の推進	未利用町有財産の売却及び利活用に一段の注力を。
			税徴収の公平性に留意し、一層の歳入確保に注力を。
			経常収支比率の改善に一段の注力を。
	7-2	効率的な行政運営	移住施策への効果を得られるよう、当局として移住施策と組み合わせ考えていくこと。
			正規職員への接遇研修及び若手職員人材育成研修に一段の注力を。
	7-3	町民参加の推進	町公式LINEの登録者数の増加を図るため、町民が窓口に来た際や、イベントでの呼びかけなど、新たな啓発活動に取り組むこと。
			多様な媒体による情報発信に一段の注力を。